

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 7月25日更新

事務事業名		合志市レジ袋削減推進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	岡田 光弘
	施策	22	地球温暖化防止対策の推進			所属課	環境衛生課	担当者名	中嶋 繁之
	施策の柱	64	地球温暖化防止対策の推進			所属班	環境衛生班	(内線)	1142
予算科目		会計一般	款 4	項 2	目 1	事業連番 11541	根拠法令	合志市レジ袋削減推進協議会設置要綱	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ④
								コスト削減優先度評価結果	: ⑨

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	地球温暖化の防止と循環型社会の形成に向け、レジ袋の削減のために市民団体・事業者・行政等が相互理解と連携を図り、合志市におけるレジ袋の削減に向けた取組みを支援する。
【業務の流れ】	レジ袋の有料化に取組む市内事業所(9店舗)より毎月の実績報告書を提出してもらい、市のホームページにて定期的に情報公開している。
【主な予算費目】	予算計上なし
【意見や要望】	大型チェーン店など、レジ袋有料化に踏み切れない事業所もあり、今後の課題となっている。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
各事業所よりレジ袋有料化(削減)に向けた取組み状況の報告を収集し、ホームページにて情報を公開した。		レジ袋削減に向けた啓発活動を、引き続き実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア: 協議会の開催回数	回	予算計上はない。
→ イ: 広報・啓発の回数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
事業所、市民		(単位)
		→ ア: 世帯数
		→ イ: 事業所数
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
CO2発生抑制とごみ減量化に即した生活や事業活動が出来る。		(単位)
		→ ア: マイバック持参率
		→ イ: レジ袋無料配布中止を行った事業所
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
市民が身近に取組むことができるレジ袋削減及びマイバック持参を推進することで、地球温暖化の原因である温室効果ガスの排出量の削減やごみ排出量の抑制が図れる。マイバック持参率については県の設定目標に基づき、80%と設定した。取組み事業所の件数については新規開拓により増えると見込み、10店舗とした。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	27年度実績(決算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	31年度予定	32年度見込	33年度見込
① 活動指標	ア	回	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ	回	1	1	2	1	2	2	2	2
② 対象指標	ア	世帯	22,948	23,552	23,300	24,021	23,700	23,900	24,100	24,300
	イ	件	96	96	96	96	96	96	96	96
③ 成果指標	ア	%	82.6	78.3	80	79.7	80	80	80	80
	イ	件	9	9	10	9	10	10	11	11
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	(A) 事業費計	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	3	4	3	4	4	4
		延べ業務時間	時間	45	45	100	45	100	100	100
(B) 人件費計	千円	0	0	398	178	398	398	398		
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	398	178	398	398	398		

事務事業名	合志市レジ袋削減推進事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 引き続き啓発活動を行い、協力店舗の新規開拓を図っていきたい。
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 全事業所に対し周知啓発を行い、有料化に取り組む事業所を増やすとともに、市民への情報提供と意識高揚に努める。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 広報紙・ホームページでの啓発を徹底することで、市民の意識高揚を図ることができ、成果の向上が見込める。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 地球温暖化防止事業と類似しているが、レジ袋削減に向けた取り組みは単独事業として推進していく。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 予算の計上はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 啓発は必要であるため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全事業所、全市民が対象であるので公平公正である
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 地球温暖化防止及びごみ減量は行政が取り組む課題であるので適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

平成24年8月に推進協議会は解散したが、今後も引き続き市民への周知・啓発を行う。現在は9事業所が有料化に取り組んでいる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						